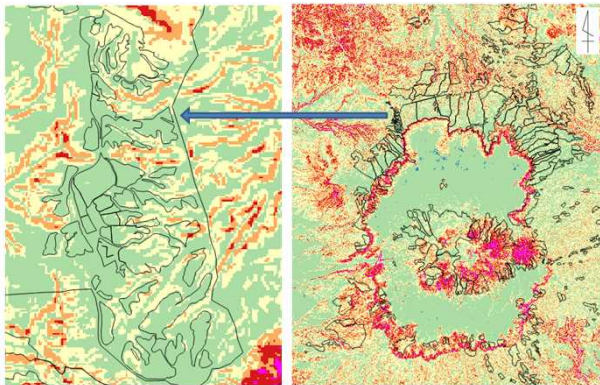


# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2016

## 阿蘇地域における牧野ハザードマップ



(縮尺 1:16,271)

(縮尺 1:260,338)

牧野ハザードマップ(左：拡大図)

区分	放牧		農作業機	
	箇所数 (箇所)	面積 (m <sup>2</sup> )	箇所数 (箇所)	面積 (m <sup>2</sup> )
10度以下	3.6	6,515	33.6	84,485
10～20度	41.7	65,527	39.1	404,107
20～30度	82.9	234,543	16.1	742,013
30度以上	61.0	294,600	2.0	375,300

表 危険箇所数および危険箇所面積の平均値

### 問 研究のねらいは？

答 農家の高齢化や後継者不足より、牧野での放牧および農作業における危険箇所情報の伝承が困難となっており、放牧事故や農作業事故の原因の一つとなっています。そこで、牧野の傾斜角度から危険箇所を抽出し阿蘇地域の牧野ハザードマップを開発・作成しました。

### 問 優れている点は？

- 答
- ① 牧野内の放牧および農作業機械操作におけるそれぞれの危険箇所数および面積を遠隔地において把握することができます。
  - ② 過去に事故が発生した場所や今後危惧される場所をハザードマップにプロットすることにより、放牧事故および農作業事故のリスクを減らすことができます。

### 問 普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 放牧における危険箇所は30度以上、農作業における危険箇所は15度以上としました。
  - ② 10mメッシュ以下の沢および溝が考慮されていない可能性があります。